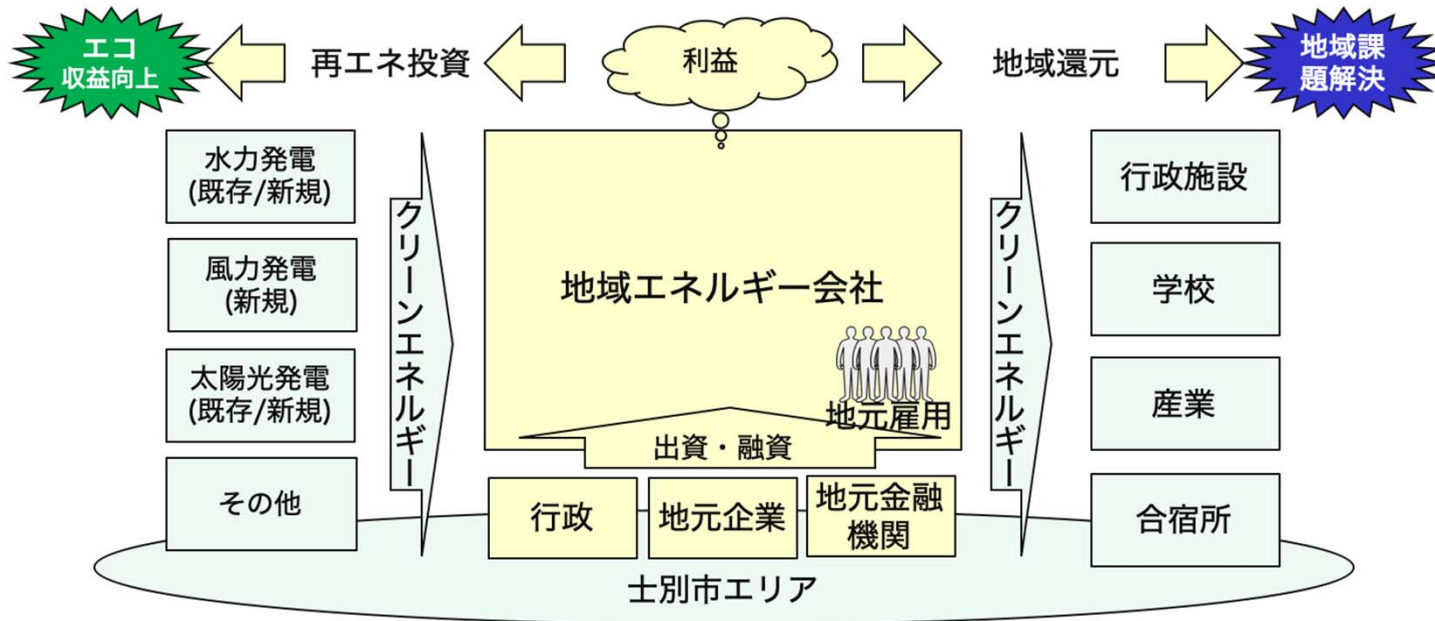


地方公共団体	士別市
所在地	北海道士別市東6条4丁目1番地
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	地域エネルギー会社による収益獲得によって、再生可能エネルギー発電への投資(主に太陽光及び水力発電を想定)が行われ、同会社が得た収益を活用して地域活性化を図りつつ、脱炭素社会(地域)の構築を目指す。
地域の現状・課題	近年、人口減少及び少子高齢が著しく進行しており、本市基幹産業である農業(担い手の問題など)をはじめとして、地域経済へ影響を及ぼしているほか、交流人口も減少しているなど、過疎化、地域経済の低迷が課題となっている。
地域が持つ資源	水力発電設備を備えたダム(岩尾内ダム、ポンテシオダム) 太陽光発電に適した広大な土地(行政面積1,120平方km) 基幹産業である農業(畜産業等含む。)
取組内容	①地域活性化資金の獲得 本市において地域エネルギー会社を設立し、電力事業(発電、小売)により収益を獲得する。 ②地域活性化への投資 地域エネルギー会社が、経済の活性化等に向け地域に投資を行う。
地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果	(環境) 地域エネルギー会社が収益を上げ、事業拡大や地域への投資に向け、発電所投資も視野に入れつつ事業を推進していくことで、将来的なエネルギーの100%地産・地消が実現可能となる。 (経済・社会) 地域経済の活性化に向けた投資による中心商店街の賑わい創出などのほか、農業施策への投資による担い手対策や本市農業ブランディング強化、また、合宿受入体制や企業誘致制度の充実化をはじめとする交流人口拡大施策への投資により、地域消費の拡大、本市交流人口の拡大などが図られる。



岩尾内湖と岩尾内ダム



地域循環共生圏の実現に向けて



本市PRキャラ【さほっちファミリー】



【羊のまち 士別】を象徴する本市観光の拠点【羊飼いの家】と、【サフォーク】種の羊